

令和5年4月11日
資料提供

「防災デジタルコンテンツを用いた土砂災害防災学習の推進」が 「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2023」で最優秀賞を受賞

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（会長：広瀬道明東京ガス株式会社取締役会長）が強靱化に資する取組を全国から募集し、評価・表彰する「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2023」において、本県の取組が最優秀賞を受賞しました。

【受賞内容】

「防災デジタルコンテンツを用いた土砂災害防災学習の推進」

【概要】

災害から命を守るためには、インフラの機能強化等のハード対策に加え、住民一人ひとりが災害リスクと正しく向き合い、災害発生時に的確な行動を取ることが求められます。

本県では土砂災害に関する防災教育を主要な啓発活動の一つと位置付け、県下の学校においてスライドやビデオ、模型実験を用いた授業を行うとともに、令和3年度から防災に関する知識や対策を楽しく積極的に学習できるように、防災デジタルコンテンツ（防災RPG（ロールプレイングゲーム）等）を和歌山工業高等専門学校と共同開発し、子供たちへの防災教育に活用しております。

【防災デジタルコンテンツの内容】

①防災RPG「土砂災害が発生したとき」

（内容）ゲームの主人公となり、土砂災害とその避難を体験することで、防災に関する知識を楽しく積極的に学習することができる。

②防災RPG「命を守るハザードマップ」

（内容）自宅にいる自分のキャラクターが家族とともに避難する方法などを身近に学習することができる。第4回高専防災コンテストにおいて最優秀賞を受賞。

③避難シミュレーションRPG「災害にそなえて、じゅんぴをしよう！」

（内容）土砂災害時に対する避難行動を題材として、避難について正しい理解と事前準備の必要性を学習することができる。

④ハザードマップ作成アプリ「マイハザードマップ」

（内容）地図を読み込み、画面をタップすることで、学校等のアイコンを配置したり、撮影した写真を読み込んだり、線を描くことなどができ、手軽に「マイハザードマップ」の作成を行うことができる。



①防災RPG「土砂災害が発生したとき」



④ハザードマップ作成アプリ「マイハザードマップ」

(参考)

ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 2023

○主催

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会
会長：広瀬 道明 (東京ガス株式会社 取締役会長)

国土強靱化の推進には国や地方自治体等に加え、民間の主体的な取り組みが必要であるとの考えから、平成26

年7月、産・学・官・民のオールジャパンでのレジリエンス立国構築を目的として設立された団体

参考HP：<https://www.resilience-jp.biz/award/>

○趣旨

強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動等に取り組んでいる先進的な企業・団体を評価、表彰する取組で2015年から始まり今回が9回目

○賞の構成

- ・グランプリ (1団体)
- ・準グランプリ 金賞、二階俊博国土強靱化提唱者賞、古屋圭司初代国土強靱化大臣賞、石井啓一特別顧問賞、佐々木則夫賞 (5団体)
- ・最優秀賞 (グランプリ、準グランプリに次ぐ3番目の賞)、優秀賞、優良賞

○過去の受賞歴

2016 金賞 (地方自治体部門)

「津波による犠牲者ゼロの実現」

2017 会長賞

「紀伊半島大水害の教訓から」

2018 金賞 (地方自治体部門)

「実働機関、地域住民、市町村と協同する実践型訓練」

国土強靱化地域計画賞 金賞

「和歌山県国土強靱化計画」

2019 特別顧問賞 (二階俊博賞)

「『稲むらの火』を語り継ぎ、迫り来る巨大災害に備える津波防災地域づくり」
(和歌山県・広川町)

2020 最優秀賞

「復興計画事前策定の推進～発災後も地域への愛着・誇りを持って暮らし続けるために～」(和歌山県・美浜町)

2021 グランプリ

『和歌山県防災ナビ』～スマートフォンアプリを活用した避難促進～

2022 最優秀賞

『きいちゃんの災害避難ゲーム』

【問い合わせ先】

①強靱化大賞に関すること
企画部企画政策局企画総務課
調査調整班 瀬川・今本
電話：073-441-2337

②防災デジタルコンテンツを用いた
土砂災害防災学習の推進に関すること
和歌山県土砂災害啓発センター 稲田
電話：0735-29-7531